

年4回（4月、7月、10月、1月の各10日）発行

ひゅーまん ねつとわーく

地域生活

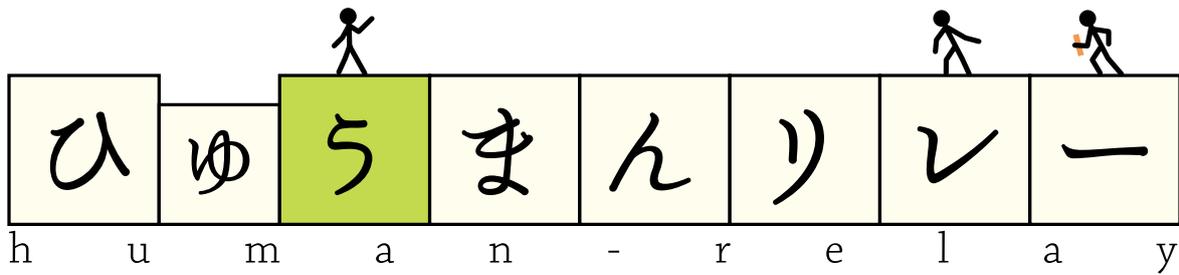
2021年 10月 発行 / 第87号

社会福祉法人 北摂杉の子会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



すぎのご訪問看護ステーションのご利用者



石原昂侑さんは、私ども法人が運営するジョブサイトよど（生活介護事業、就労継続支援B型事業）に平成23年4月から平成25年10月まで、支援員として勤めていただきました。

採用面接のときに、「将来は福祉事業で起業したい」と、将来の夢を語られました。法人としては、長く働いていただける職員を採用したい思いが強いのですが、福祉事業で起業したいとの思いを支える、その人材を育成することは、社会福祉法人の公器としての1つの責任だと思いました。Facebookで、度々石原さんの活動を拝見しています。今回、1つの連携のカタチとして、石原さんの活動についての寄稿をお願いしました。

（理事長 松上利男）

いしはら たかゆき
特定非営利活動法人あそと 代表理事 石原 昂侑さんより

皆様はじめまして。ご無沙汰しております。元ジョブサイトよど職員の石原です。松上さんの紹介文を受けまして、10年前の僕はそんなことを…よく言ったな、と恥ずかしくなっております。その節は本当にありがとうございました。

現在は大阪市内でNPO法人あそと、という団体にて活動をしています。現在NPO法人あそとでは障害のある人への支援と高校生支援を行っています。障害のある人への支援として居宅介護、就労継続支援B型、相談支援の事業所を運営しています。高校生支援として、高校内居場所カフェ事業と数名のスタッフが高校スクールソーシャルワーカーとして活動をしています。

●高校生への支援を始めたきっかけ

今回は高校生への支援についてお話をさせて頂きたいと思います。就労継続支援B型事業でのご利用者との出会いが高校生支援に取り組みはじめたきっかけです。その方はさまざまな困難のある状況の中で生活を送り、大人になってから発達障害と診断をされた方でした。ここからは僕の勝手な思いなのですが、もしもう少し早い時期に自身の得意不得意や自分に合った努力の仕方を知ることができたら、少しは困難さの軽減ができたかもしれま

せん。そこから高校生への支援の必要性を感じ始めました。現在は教育委員会の課題を抱えるフォローアップ事業を当法人が受託し、府内2校で高校内居場所カフェを行っています。

●高校内居場所カフェとは

平成24年にひきこもり支援のNPOが大阪の西成高校で高校内居場所カフェを始めました。現在は大阪、横浜、静岡、北海道など、全国60か所以上で実施されています。カフェというその名のとおり、昼休みや放課後に、空き教室、図書室、食堂などを利用し生徒のためのカフェを開いています。無料のおやつやドリンクが用意され、メロウな（落ち着いた）音楽が流れ、生徒がゆっくりとした時間を過ごします。珈琲を飲みながらお喋りをしていたり、友人とトランプに興じたり、1人で本を読んだりしています。そしてその空間には親でも先生でもないエプロンを付けた大人（スタッフやボランティア）がいます。大人も一緒にトランプをしたり、生徒と話し込んだりしています。

●学校の中のサードプレイス

サードプレイス（第3の場所）という言葉があります。ファーストプレイスは家庭、セカンドプレイスは

職場（子どもだと学校）です。サードプレイスは固定的な人間関係や緊張感からは程遠いリラックスした空間で、気軽に立ち寄れてたまたまそこにいた人と気楽におしゃべりができるような場所です。（日本の代表的なサードプレイスは銭湯と言われています）。家庭内での暴力があったり、自宅に居場所がなかったり、家族のケアを担っていたりと、生徒が生活をする環境はさまざまです。常に緊張と共に家（ファーストプレイス）で過ごす生徒がいます。また教室（セカンドプレイス）で行われる人間関係や活動から強い緊張を感じる生徒もいます。多数派によるコミュニケーションにうまく馴染めない人にとって教室は緊張感の高いところとなることが多いです。セカンドプレイス内にサードプレイスである高校内居場所カフェを作ることで、生徒が気楽に立ち寄れます。ひとときではありますが緊張感から離れた時間を過ごせます。

●「困ったらなんでも相談してね」と言われても

困難な状況にある人が自身の困難さを人に語ることは非常に難しいことです。学校の相談室のドアを叩くためには、自分が困っていることを言葉にできる、知らない人に自身のことを話す緊張感や恥しさに耐えられる、など多くのハードルを越えなければいけません。このハードルを越えられない生徒は潜在化してしまい、困難さを1人で抱え込むことになってしまいます。「困ったらなんでも相談してね」と言われただけでは、このハードルは越えられません。支援者の前に現れてくれるならば、相談の積み重ね⇒関係性の構築、と進めていくことができますが、そもそも困っている生徒は支援者の前に現れてくれません。しかし高校内居場所カフェでは、カフェの大人としてまずは生徒に出会うことができます。カフェでのただのお喋り、おやつやドリンクの受け渡し、ひたすら好きなアニメの話聞く、一緒にトランプをする、誕生日おめでとうの一言、そのような関わりを続ける中で、ある日ふとしたタイミング

で生徒がポロっとこぼします。「また昨日も怒鳴られてん」「今日は朝から何も食べてないねん」ふと話してくれたこうした言葉から、生徒が抱えるしんどさが発見され支援がスタートします。関係性の構築⇒ふとした相談という順番です。また普段のコミュニケーション（人との距離感が独特）や服装（いつも制服が汚れている）などからも生徒の抱える困り感が発見されることもあります。

●文化でつながる

カフェでは手作りのおやつや自家焙煎の珈琲なども準備しています。「これ食べたことある、飲んだことある」「美味しいよね」は人と繋がるきっかけになります。飲食だけでなく「この曲きいたことある、これで遊んだことある」なども人と人を繋げます。文化というと大げさかもしれませんが、ある高校生はオセロやUNOのルールを知りませんでした。高校3年生になって初めてルールを知ったことで、他の生徒と同じ時間をすごすことができました。子どもの貧困を考えるとときに金銭的な貧困へのアプローチはもちろん必要ですが、同時に文化的な貧困へのアプローチも必要であると思います。また、いろいろな大人の価値観に触れることも一つの文化体験です。カフェには様々な大人にボランティアで参加をしていただき、高校生とお喋りをしてもらっています。

●さいごに

法人を立ち上げて7～8年になりますが、北摂杉の子会で学ばせていただいた様々な事柄が自身の対人援助のベースにあると感じています。今後もしっかりと対人援助を続けていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

地域における包括的支援体制の構築をめざして

～地域連携を考えて～

令和2年度、第18回ASEAN日本社会保障ハイレベル会合において、発達障がいテーマに掲げられました。窓口となる厚生労働省大臣官房国際課より依頼を受け、大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさかが、動画での事業報告というかたちで本会合に参加しました。そういった連携の経過があり、今回、厚生労働省大臣官房国際課よりご寄稿いただくこととなりました。

ASEAN日本社会保障ハイレベル会合の開催について

厚生労働省では、平成15年より、ASEAN地域における社会福祉及び保健医療の各分野の人材育成を強化し、日本とASEAN諸国の協力関係を強化するため、ASEAN・日本社会保障ハイレベル会合を開催してきました。

本会合は、ASEAN+3（日中韓）保健大臣会合及び社会福祉開発大臣会合を支える重要な基盤と認識されており、会合の結果は各ASEAN+3大臣会合に報告しています。

平成23年からは、保健及び福祉分野に労働分野を加えた関係3分野間の協力促進を視野に入れて、労働政策を担当する行政官も招聘しています。

昨年度は、令和2年10月30日（金）、第18回ASEAN・日本社会保障ハイレベル会合をオンラインにて開催致しました。第18回会合では、「子どもの未来を支える包摂的社会的構築～自閉症スペクトラム障害をはじめとする発達障害のある子どもとその保護者への支援に焦点を当てて～」をテーマ

として、ASEAN10ヶ国の保健、社会福祉、労働政策の各分野の担当行政官及び協力機関からの参加を得て活発な議論を行いました。

この第18回会合において、持続可能な開発のための2030アジェンダの達成に向けた包摂的社会を促進するための保健、福祉及び労働セクターのステークホルダーの役割について、知識の共有及び意見交換を行う効果的なプラットフォームを提供していることを認識し、以下の提言について合意しました。

1. 発達障害者が、そのライフステージに応じて、乳幼児期から学齢期、成人期における社会参加に至るまで、地域で切れ目なく支援が受けられるよう、保健、福祉、労働、及び教育を含むその他の関係するセクター間の連携と協力を強化し、地域での包括的な支援体制の構築に向けて取り組む。

2. 支援が必要な人の身近なところにサービスの拠点を増やしていくことが重要であり、既存の限られた社会資源を活かし、既存の限られた社会資源を活かし、民間セクター及びNGOとの連携を進めながら、地域の多様な状況に対応できる整備に取り組む。
3. 地域のあらゆる住民が「支え手」と「受け手」に分かれるのではなく、地域、暮らし、生きがいとともに創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現に向けた取組を推進する。
4. 我々は、発達障害に関するよりよい理解を実現するために啓発を進め、偏見を予防・克服することにより、発達障害者に優しく、共生する環境を促進する。
5. 発達に悩みや問題を抱える障害児者が、早期に必要な医療や福祉サービスを受けられるよう、発達障害に関する地域の医療従事者の対応能力の向上を図るとともに、医療と福祉の連携による、早期対応を強化することに取り組む。
6. 発達障害者が地域で自立した生活を送るための基盤として、生活・就労支援の重要性を認識し、個々の障害者の課題と強みを明確にし、社会的・経済的自立に向けて、マルチセクターでの連携を推進しながら、生活・就労支援を強化する。
7. 障害のある子どもを育てる保護者に対して、発達の各段階に応じた対応等に関する丁寧な支援を行うことが、当該障害児自身にも良い影響を与えることを認識し、保護者の「子どもの育ちを支える力」を向上させるための支援に取り組む。
8. 発達障害者に関する様々な政策やプログラムの成果と有効性をモニターし評価するため、調査研究等を通じてデータの収集と共有を強化する。
9. ASEAN+3 加盟国、WHO、ILO、JICA、その他関係する国際機関、地域機関及び開発パートナーとの分野及び組織横断的な協力の推進に

より、発達障害の子ども及び保護者のための公衆衛生、社会福祉及び労働の各分野の知識、経験、好事例、技術及び社会的イノベーションの各国間及び各国内での共有を強化する。

会合の参加国からは「この会合で、発達障害のある子どもたちへのサービスをどのように改善していくのがベストなのか、詳細を学ぶことができた。」等のコメントがありました。

今年のテーマはメンタルヘルスです。

収まりを見せない新型コロナウイルス感染症は、人々の身体・精神・社会面に大きな影響を及ぼし、社会福祉・保健医療及び雇用分野での、切れ目のないサービス（支援）の継続が課題となっています。今年の会合では、日本が経験した取組みをASEAN各国からの参加者や、国内有識者と共有し、これからの政策や支援のあり方や可能性について協議する予定です。



新規ご利用者のエンパワメントを活用した生活支援

～ ご利用者の文化に合わせるとは?の実際 ～



レジデンスなさはら

支援員・社会福祉士 木村 嘉津夫

■ はじめに

レジデンスなさはらは、重い知的障がいのある方、自閉スペクトラム症で行動上の課題がある方を対象に、平成24年4月に設立された共同生活援助施設で、現在20名のご利用者が3棟の建物に分かれて生活されています。近年では「1人ひとりを知り、意思を大切にします」「地域でのあたりまえで快適な暮らしをサポートします」「1人ひとりがしたいこと、チャレンジできる環境を整えます」という「なさはら3か条」を支援員1人ひとりが意識して、よりご利用者が「『らしく』いきるために」ということを日々考えながら支援を行っています。

今回は「新規ご利用者の受け入れ」という点に焦点を当て、よりご利用者が「『らしく』いきる」ためにレジデンスなさはらで取り組んだ事例について紹介させていただきます。

■ 支援開始前の状況

年齢：25歳 男性

障がい：重度の知的障がい、自閉スペクトラム症

課題：同居されているご家族に他害行為が多く見られ、ご家族との同居が難しい状態にあり、他法人の短期入所（以下ショート）をほぼ毎日利用されている状態でした。また、ショート利用時にも、備品の位置に強いこだわりがある、他のご利用者への他害が見られるなどの課題がありました。その傾向は、特にショートを連泊で利用された際、日数が長くなるほどに強くなりました。

そのような課題から、ご自宅での生活が困難となり、定期帰省なし、年間365日利用を前提に、令和2年の10月よりレジデンスなさはら3番館に入居され、生活を送る予定となっていました。

■ 入居前の支援

まず、令和2年8月にご利用者が通所していた生活介護事業所、9月にショート事業所へ見学に行き、ご利用者の様子について聞き取りをし、以下の受け入れ準備を行いました。

①生活エリアの他のご利用者との完全区分け

生活介護、ショート事業所でそれぞれ他のご利用者との接点が他害行為に繋がっていたため、出入り口を分け、居室の窓側に靴箱を設置し、ご利用者専用の出入り口を設定しました。また、オートロックのドアも活用し、他のご利用者とは生活エリアを完全に区分けすることにしています。また、他のご利用者への影響も考慮したうえで、職員の動きが刺激とならないよう、動線の整理も行いました。

②2種のスケジュールを準備

ショートの日数が長くなると、落ち着かない様子が見られていたことから、後の予定に対する見通しを持っていただくためにスケジュールを準備しました。その内容も、一週間の予定（通所か休みかどうか）をお知らせするものと、レジデンスなさはら内での活動の予定がわかり、職員の合図で活動を始めるためのものとの2種類に分けて居室に提示しました。

■ 支援結果と新しい課題

上記①を受けた効果

- 他のご利用者、および職員との接点を減らしたことで、帰省時はほぼ毎日、ショート利用中も週に1回以上見られていた他害行動が、グループホーム利用開始後の半年間では職員への3回のみとなりました。
- 入居当初は、入眠を促すための薬を服用されていましたが、他者の動きを気にされることなくよく眠られていたため、令和3年3月の病院受診でその薬が眠れないとき用の頓服薬へと変更になっています。それ以降もよく眠ることができており、令和3年9月時点で頓服薬は一度も使用することはありませんでした。

上記②を受けた効果

- スケジュールを使用することで、祝日休み、土曜開所、日中の一時帰省などのイレギュラーな予定や、食事や歯磨きといった日課活動も理解され、対応することができています。

新しい課題

入居後の支援を通してうまくいった部分もある反面、日々の様子から新しい課題も明らかになっていきました。その中でも特に大きなものは、衣類整理へのこだわりでした。入居当初、ご利用者の居室にあるタンスは引き出し型のもので、その中に服をズボンやシャツなどの種類別に分けられるよう、シールを貼って提示していました。しかし、ご本人にとっては、一度に着るズボンとシャツ、靴下などの一組ずつに分けて収納するのが衣類整理です。そのため一段の引き出しの中いっぱい詰め込んでしまっていました。このようにうまく収納することができないと、衣類整理に30分以上かかって次の活動に進めない、服をうまく取り出せずに着るべきシャツを着忘れてしまうといった状況になります。

■ 衣類整理へのこだわりに対する支援

前述の状況を受け、ご利用者「らしい」衣類整理をしていただくため、環境を整えていきました。まず、整理に使っていたタンスを、収納スペースに余裕のある大きなラックに替えました。そして、その

ラックの段に小さいかごを置くことで、朝着替える服、パジャマをそれぞれ1セットずつに分けて入れることができるようにしました。

その結果、30分以上かかることもあった衣類整理が、5分程度で行えるようになり、ご利用者がお好きな入浴などの活動に余裕をもって移行できるようになりました。また、衣類の着忘れもなくなり、毎日翌日に着る服を自身で選び、セットしておられます。

■ まとめ

今回の事例を通して、1人ひとりにとって「自分らしい」やり方は異なっているということに改めて気づくことができました。そして、ご利用者を理解し、1人ひとりに合わせて環境を整えることで、持っている力をより大きく発揮していただけるということにも気づかされました。

今後も、ご利用者1人ひとりが自分自身の力を発揮して「『らしく』いきる」ことができるように、日々の支援に取り組んでいきたいと思えます。



なさはら内の活動を伝えるスケジュール



週間スケジュール



リニューアル前のタンス



リニューアル後のラック

地域の保育園と連携したボランティアワークの実践



ジョブジョイントおおさかたかつきランチ
 うえ ぐち かなほ
 支援員 上 口 夏菜穂

■ はじめに

ジョブジョイントおおさかでは、「企業で働きたい」と願う発達障がいのある方へ就労移行支援、自立訓練の事業を行っています。

その中で、私は自立訓練を担当しており、焦らずゆっくりと働く準備をしたいという希望のあるご利用者の皆さんのサポートをしています。

■ 経緯

自立訓練のご利用者の方々は、日々通所する中で、働くための土台作りとして、たくさんの経験を積むことや日常生活スキルを身につけることを目標に取り組まれています。また、社会での経験が少ないご利用者の方々に『働く』ことのイメージを少しずつ持っていただけるようサポートしていくことも、働くための土台作りとして大切だと考えています。

しかし、事業所内での自立訓練プログラムでは、ご利用者に『働くことの実体験』を積んでいただく機会が少なく、その結果、『働く』『仕事をする』というイメージが持ちにくいことが課題となっていました。また、新型コロナウイルスの影響もあり、事業所の外での活動や地域との関わりの機会も減少し、事業所内では同じような作業の繰り返しが多く



作業風景

なり、ご利用者のモチベーションの低下も見られていました。

そこで、事業所の外で実際に仕事をする機会として、高槻認定こども園での園庭砂場の清掃作業を行うことを検討することとなりました。

■ 実施に向けた準備について

まずは、支援者だけで高槻認定こども園を訪問し、作業場所の下見や先生方との打ち合わせし、その内容を踏まえて、清掃の手順書とご利用者に向けたガイダンス資料を作成しました。

手順書は、初めての作業場所

【高槻認定こども園 到着】	
去り側	私たちがいる 【1階・インナーコート裏側出口】
入り口	「発見しやすく」に案内がはたさる、くつが履けず 靴を脱ぎ替えてから、くつを手に持ち
見せ場 職員出入口 入り口	こんにちは、高槻ジョイントランチから参ります。〇〇です。 ※目的「働く」を体験してほしいです。 → 高槻認定こども園 よくよくお話しします。 発見しやすく
作業	園庭の清掃 ※ 外の園庭へ 高槻認定こども園へ入り口

手順書



ガイダンス資料

のため、わかりやすいよう写真を多く使用して作成しました。作業工程だけでなく、移動の順路や場面ごとに必要なセリフなども記載しています。

ガイダンス資料には、作業の概要や作業の目的・ルールなどを記載しています。これらをもとに自立訓練のご利用者の皆さんにガイダンスを行い、普段事業所内で行っている練習作業ではなく、実際にお仕事をするをお伝えしました。

■ 実施の流れ

清掃作業は、週に1回、プログラムの中で行っています。

まずは、出発前に事業所内で役割分担や身だしなみ、体調の確認を行ってから高槻認定こども園に向かいます。

こども園に到着すると、作業開始前に職員室へ行き、先生方に挨拶をします。その際に当日の参加者の名簿と検温の結果をお渡ししています。その後、子ども園内の園庭砂場と中庭砂場の清掃作業を行います。作業時間は1時間半程度で、作業終了後は、職員室で先生方に作業終了の報告と終わりの挨拶をして、事業所へ戻ってきます。

事業所に戻った後は、清掃作業で使った道具などの片付けと振り返りを行っています。

■ 工夫した点

1つ目は、『仕事』としての経験を積むために3つの工夫を行いました。

- ①1ヵ月ごとに持ち回り制で、ご利用者の中でリーダーを決め、代表して挨拶をしていただくこと。
- ②仕事として取り組んでいるという責任感を意識できるように名札をつけること。
- ③現場での作業に向けて、基本的なビジネスマナーの練習を行うこと。

2つ目は、『日常生活スキル』を意識して、生活面での経験も積んでいただくために、作業で使っている軍手はそれぞれご利用者に洗濯をしていただくことにしました。

3つ目は、作業用のユニフォームを用意し、場面の切り替えが分かりやすいように工夫をしました。

これらの工夫を通して、『大人として』『仕事として』作業に取り組むことを意識していただけたように感じています。

■ 成果（ご利用者）

この取り組みを通して、ビジネスマナーや時間を意識する機会となりました。チームで協力して作業を進める意識が芽生え、『働く』という具体的なイメージにも繋がっています。

また、普段事業所内で練習している清掃スキルを実際の場面で活かすことができ、自信にも繋がりました。

何より、作業に取り組むことで、人の役に立ったり、人から感謝される経験を積むことができたのが、ご利用者の皆さんにとって達成感を感じることで大きな経験となっています。昨年末には、こども園の先生方から清掃をしたお礼にと、お菓子をいただいたことがあり、自分たちの仕事が感謝されていることを実感された出来事でした。

■ 成果（こども園）

こども園の先生方からもたくさんの反応をいただいています。

コロナ禍でなかなか手が回らない砂場の清掃作業を、ジョブジョイントおおさかのご利用者に請け負ってもらったことで、先生方の負担が軽減され、子どもたちの遊ぶ環境が整ったとお聞きしています。

また、今回の取り組みを通して、発達障がいのある方と関わることができ、発達障がいについて知る機会ができた感想もいただきました。

■ 最後に

今回の取り組みを通して、こども園での清掃作業が事業所内で練習した作業のステップアップのような位置づけとなり、ご利用者のモチベーションに繋がったように感じています。また、こども園の先生方から「いつもきれいにしてもらってありがとうございます」とお声をかけていただくこともあり、感謝される経験を通して、ご利用者の自信にも繋がりました。

今後も、継続的にこども園での清掃作業を行いながら、地域の中での経験や、地域の人との関わりを幅を広げていくことができるよう支援していきたいと考えています。



先生方からお礼にとお菓子をいただきました



iPad活用によるコミュニケーション行動支援と 学習支援についての実践報告

地域医療支援部 すぎのこ訪問看護ステーション
作業療法士 小川 信行

■ はじめに

訪問看護では、成人だけでなく未就学の子どもさんや小学生の支援も行っています。近年、学校教育の分野では文部科学省の※GIGAスクール構想に基づき、児童に1人1台のタブレットやパソコンなどのICT機器の導入やネットワーク環境の整備を行っています。

福祉分野でもこれからの地域生活に合わせた支援ツールの利用と特性に合わせたICTの活用が必要だと考えております。今回は、ASD（自閉スペクトラム障害）で有意味語のでない男児に対して、コミュニケーションの支援ツールとしてタブレットを活用し応答することで、母の育児への負担が軽減した事例と、発達障がいや書字障がいのある男児に学校の板書等による負担を軽減した事例を報告します。

※GIGAスクール構想：ICT技術（情報通信技術）の社会への浸透を受けて小中高等学校などの教育現場で児童・生徒各自がパソコンやタブレットといったICT端末を活用できるようにする取り組み

■ 支援ツールの選択

訪問看護では支援ツールとして、iPadを使用しています。iPadにはApplePencil（アップルペンシル）という筆で直線やカーブを自動で補正する機能があり、簡単に文字や絵がかけます。

また、必要なアプリをフォルダ機能で整理して、場面によって使い分けも出来ます。それらを活かして今回は「DropTalk（ドロップトーク）」と「GoodNotes（グッドノーツ）」という2つのアプリを利用しました。

「DropTalk」はコミュニケーション代替手段にな

ります。伝えるのに必要なシンボル（物の名前や動作などのイラスト）をアプリ内のキャンバスに貼り付けて、そのシンボルを押すと音声が出て、言葉を発声できない人でも意思を表出することや応答することが可能となります。

「GoodNotes」では、ApplePencilで直接文字を入力したりや絵を描いたりすることも出来ます。書字が困難であればキーボードを使って文字を入力することもできます。

■ 意思表出支援のための「DropTalk」の活用

4歳の未就学男児（ASD）の表出支援に向けた事例を紹介します。

この方は言葉による表出がなく、声かけに対して、わかりやすく応答することが困難で、拒否や不快なときは泣くという応答手段になり、ご家族も困惑することがありました。

そこで、声かけに対する応答として「○」と「×」というシンボルを用いました。DropTalkの操作を覚えていただくために、まず見本を見せました。次に簡単な質問をして、その質問の答えに合致した「○」「×」のシンボルに手を誘導しました。すると、課題の提示に対して「やってみよう」などの応答には「○」、拒否の応答には「×」を押すようになりました。課題としているパズルにピースをはめ込むことを私も手伝わせてほしいと行動で示すと「×」を押したり、一緒に課題に取り組みたいときには「○」を押したりすることが出来るようになりました。

訪問看護での取り組み後、家庭で泣く以外で応答をしている姿を見て、お母さんは「質問に答えている」

「やり取りが出来ている」と驚かれていました。ご家族の顔写真や食べ物の写真を用意すると「母」と「食べ物」の写真を渡して要求することも出来るようになりました。

現在、応答手段でDropTalkを利用していますが、○○が欲しい、××がしたいなどの要求や「楽しい」「うれしい」「痛い」など感情表出、二語文、三語文などの文章での伝達手段としても活用していきたいと考えます。



実際の練習場面



実際のシンボル

■ 学校での書字困難解消のための「GoodNotes」の活用

11歳男児（発達障がい児）に学校でiPadを使用することによって、家庭でも積極的にiPadを活用するようになった事例を紹介します。

この方には手先の不器用さ、目と手の協応の難しさ、姿勢の崩れやすさがあります。興味があるものに対しては過度に集中しますが、関心の低いことに対しては集中力が続かない特性がありました。知識を蓄積して暗唱するなど学習能力はありますが、板書のノートやテストで自分が書いた字が読めないことがありました。

手先の分離運動や書字や箸の練習もしていましたが、授業でのノートの手書き量を少なくする方法を考えました。GIGAスクール構想によりタブレットが供給されることもあり、iPadでタイピング入力（ローマ字入力）をすることでノートの記録ができるのではないかと考えました。

GoodNotesを利用するに際し、ローマ入力は五本指で打てた方が有効と考え、キーボードの基本となるホームポジションを覚えてもらうために指ごとにシールで印をつけて練習をしました。

興味や関心事への探求心があるのが強みであるので、阪神タイガースの選手名など興味のある文

字・文章でのタイピング練習をしました。これを行っているうちに、iPadや携帯電話のアプリを利用して阪神の選手をまとめたり、自分の名前ロゴを作ったり、アプリを使ってアニメのワンシーンを描いて再現できたりしています。

iPad操作に自信を持ち、他のアプリを活用してアニメのキャラクターを使った漫画や訪問看護の事業所の紹介動画を作成することもしてくださいました。



タイピング練習場面



すぎのこちゃんのイラスト



自分のロゴマーク

■ 今後の活かし方とまとめ

障がい特性を踏まえるとiPadの活用は有効と考えます。フォルダ機能などを有効活用することにより誰もが視覚的にわかりやすいレイアウトにして使用することができます。また、シンボルやアイコン等の視覚的な手掛かりによって、感覚的に理解を深めることができ、ご本人にとって意味のある作業活動や意思決定が出来るようになります。さらに、iPad等のICT機器を使用することが意欲を向上させて自主的な活動への参加に繋がります。

ICTは対象者の特性に合わせた支援をその場で簡単にすることが出来ます。今後さらに新しい利用方法や取り組み方法を確立していくことでより発展的な取り組みをしていきたいです。

参考文献

- 小池幸司・神谷加代、iPad 教育活用7つの秘訣、ウイネット出版、2013、P82-83
- 佐々木正美、自閉症児のためのTEACCHハンドブック、(株)学習研究社、2008、P90-P103
- 佐々木正美、自閉症児のための絵で構造化、(株)学習研究社、2009 P68-P69
- 坂口哲司、看護と保育ためのコミュニケーション、ナカニシヤ出版、2014、P8-P9
- 実森正子／中島定彦、学習の心理、サイエンス社、2017、P2-3
- 中澤潤、教育心理学、ミネルヴァ書房、2013、P20-21
- 門真一郎、自閉症スペクトラムへの支援の基本、医学のあゆみ、2006、P973-978



杉の子 いいね!

凸レッツ凸
クリエイティブ
アート!

当法人のご利用者には、様々な特技をお持ちの方や表現活動（絵画・詞・陶芸等）を行っている方がたくさんおられます。このコーナーでは、そういった活動を紹介しています。たくさんの読者に「いいね!」「共感した!」という想いを届けたいと考えています。

ジョブサイトひむろ

第2回 ジョブサイトひむろ 一緒にアート展出品作品



● 作品名：チューリップのお花畑



そうぞう2グループでは毎月季節を感じていただけるような壁画作品作りをしています。毎日少しずつ折り紙で花を折ったり、台紙にノリで貼り付けたりしています。どの作業も、みなさん集中して創作されています。作品が完成すると、とても良い笑顔で喜ばれています。

● 作品名：紫陽花とかえる

6月
作品



● 作品名：ひまわりとセミ

7月
作品



● 作品名：七夕まつり

7月
作品



● 作品名：ぶどうばたけ

8月
作品



掲示板コーナー

(令和3年6月から令和3年8月まで)

法人事業部 掲示板

6月	行 事
2日	法人事業部管理会議
4日	医療連携推進室会議
4・11・18・25日	運営会議
8・21日	経営会議
10日～7月15日	採用希望者施設見学会
11日	新人研修 労務管理・人事考課・予算等について
20日	FUKUSHI Meets オンライン採用説明会
	第131回理事会
	第1号議案 理事長、副理事長選任の件
	第69回評議員会
	第1号議案 理事監事選任の件
	第2号議案 令和2年度 事業報告承認の件および令和3年度 事業計画報告の件
	第3号議案 令和2年度 決算承認の件および令和3年度 予算報告の件
	第4号議案 監事監査報告の件

7月	行 事
2日	医療連携推進室会議
5・19日	経営会議
7日	法人事業部管理会議
9・30日	運営会議
10日	大阪滋慶学園内採用説明会

17日	法人研修 オンライン開催 業務貢献表彰の発表 「コロナ禍での取り組み」「地域生活の取り組み」 「業務改善の取り組み」
	27日 採用一次面接

8月	行 事
2・23日	経営会議
4日	法人事業部管理会議
5日	二次面接
6日	医療連携推進室会議
6・27日	運営会議
20日	新人研修 ビジネスマナーについて
27日	権利擁護虐待防止委員会
30日	第132回理事会
	第1号議案 諸規則、規程類の改正の件
	第2号議案 役員等損害賠償責任保険契約の件
	第3号議案 理事長職務執行状況報告の件
	第4号議案 事業計画進捗状況の件
	第5号議案 ジョブサイトひむろ建替えにともなう設計・監理業者の選定の件

(河辺 記)

法人研修 オンライン開催



大阪滋慶学園内採用説明会





夏祭り ～ふれっとなさはら～



流しそうめんをしました。



夏祭りらしい屋台メニューです。



おやつもたべました。



ハッピー バースデー☆

8/24は萩の杜 M 職員とご利用者 N さんのお誕生日でした♪
同じ日に生まれたということで、毎年二人でお祝いするのが恒例です！
おめでとうございます。



(野条 記)

8月2日★外出レクリエーション



南 1 階の外出レクリエーションで舞洲に行きました！今年もコロナウイルス対策のためマスク着用での実施でしたが、クルーザーが見渡せる場所でのランチを楽しめました。サングラスが素敵です★

コロナ禍もテイクアウトで楽しもう！

感染のリスクを考え、テイクアウトでの
外食レクリエーションも楽しみました。



コロナワクチン接種

1回目：7月23日(金)
2回目：8月13日(金)

ご利用者 56 名のうち 52 名が
ひむろでワクチン接種を
受けられました。(他 2 名が個別接種)

アクトおおさか Topics!!①

【公開講座（支援者対象基礎）のご報告】

8月18日（水）に公開講座（支援者対象基礎）を開催しましたので、報告いたします。

今回は、発達障がいに関する基礎的理解を深めることを目的として、医療法人サチカム会 三国丘病院院長の河口剛先生に「発達障がいの理解と対応～ライフステージごとの症例を通して～」というテーマでご講演いただきました。

WEBセミナーとして開催し、当日は443名という大変多くの方々にご参加いただきました。

河口先生のご講演では、発達障がいの基礎的理解について、各ライフステージに沿って丁寧にお話しいただきました。症例を交えながらお話しいただいたことで、参加者の皆様はより具体的にイメージしながら受講することが出来たと

思います。ご家族、支援機関が協力して環境調整をしていく視点等、日々の支援に活かせる多くのヒントをいただきました。また「一番困っているのはご本人」という、当たり前ではありながらも、支援者が日々の支援の大変さから忘れてしまいがちな視点に改めて気づかされるようなお話もいただきました。

講演後のアンケート結果では、非常に高い満足度が示されました（大変参考になったが7割、参考になったが3割）。参加者の皆様が発達障がいに関して理解を深める貴重な時間となりました。河口先生、ありがとうございました。

講演中の様子



バックヤードの様子



アクトおおさか Topics!! ②

【公開講座（府民対象）のご案内】

アクトおおさか公開講座についてご案内いたします。

今年度2回目となる公開講座は、府民対象となります。信州大学教授の高橋知音先生に「発達障がいのある人の進路選択」というテーマで、高校卒業後の進路選択、大学入学後の学生支援についてご講演いただきます。

高橋先生には平成28年度にもアクトおおさかの公開講座でご講演をいただいております。大変多くの反響をいただきました。ここ数年、教育関係の参加者が多い傾向があることや、進路について話してほしいというご意見をいただいております。

こうした経過もあったため、今回改めて高橋先生にご講演いただくことで、発達障がいのある方の進路選択について学ぶ機会になればと考えております。

開催方法につきましては、前回と同様にWEBセミナーでの開催となります。皆様お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

なお、3回目の公開講座（支援者応用）につきましては、決定次第、ご案内させていただきます。

令和3年度 大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか 主催
府民向け 公開講座

発達障がいのある人の進路選択

～高校卒業後から大学での支援について～

発達障がいのある人のライフステージの中で、高校卒業から大学生活の支援にスポットを当てたセミナーです。信州大学で発達障がいのある学生支援に携わっておられる高橋知音先生に高校卒業後の進路選択、大学での支援についてお話しいただきます。本講座はどなたでもお申込みいただけます。

Webセミナー
(Zoom使用)

講師	高橋 知音氏 (信州大学)
日程	2021年 11月13日 (土)
時間	14:00～16:00
参加費等	無料 定員500名 (先着順) 締め切り：2021年11月12日 (金)



講師プロフィール：高橋 知音 氏

新潟県出身。信州大学学術研究院(教育学系)教授。臨床心理士、公認心理師、特別支援教育士スーパーバイザー。国内外の発達障がいのある学生支援に精通し、文部科学省の「障がいのある学生の修学支援に関する検討会」委員などを務める。また、発達障がいを中心として大学生の合理的配慮に関わる講演を多数行っておられる。著書に『発達障がいのある人の大学進学』などがある。

QRコード



申込みの流れ

QRコード、URLから申し込み

申込完了メールの受信 (返信不要)
(@google.com)

Webセミナー招待メールの受信
数日前に送信予定
(@suginokokai.com)

受講

URL: <https://forms.gle/gqs5wmaspXqS2yep7>

- 申込みにつきましては、Web申込みのみになります
- 参加者数の把握のため、参加者お一人ごとの申し込みをお願いします
- 初めてZoomを利用される場合には、アプリの事前インストールが必要になります
- 当日はインターネットへの接続と音声出力が可能なPC、スマホ等をご用意いただき、受講してください
- 迷惑メール防止の設定をしている場合は、ドメイン (@google.com @suginokokai.com) の受信設定をしてください
- 申込完了メールが届かない場合はお問い合わせください

お問い合わせ

大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか
担当: 藤田、山根 ☎: 06-6966-1313 📠: 06-6966-1531
住所: 大阪市中央区内本町1-2-13 谷四ばんらいビル10階A

※申し込みについて

WEBでの申し込みになります。下のQRコードからも申し込みが出来ます。

申し込みはこちらから



URL: <https://forms.gle/gqs5wmaspXqS2yep7>

児童発達支援部

a n



おやつタイム♪



シールを貼ってうちわづくり★



せんせいとすごろくゲーム

a z



オリジナルファイルを作りました!!集中して一生懸命作ったよ!



緊張したけど、自己紹介もがんばりました。
相手に聞こえるように上手に伝えることができました。



上手に書けました!!お互い作ったものを褒め合うこともできたよ。

Link



UNOのルールをしっかりと聞いて、楽しく先生と遊ぶことができました。



ブロックでアンパンマンのお家を作ったよ。

will



ポッキーゲーム



終わり箱に片づける



避難訓練



友達ビンゴ グループ療育

あゆみ



「遠足でウォーターランドへ!
たくさん水遊びしたよ!」



「七夕の願いごと叶うかな」



「夏祭り おみこしを見て、夏の遊びをしたよ!」

(薬師寺 記)

ジョブサイトよど/ジェイ・ブランチよど掲示板

ジョブサイトよど



お菓子作り☆



創作活動！七夕☆



お誕生日会☆



クレープ作り♪



バランスボール頑張っています！



野菜育ててます！

ジェイブランチよど

～お仕事、がんばっています～



「やり方を確認して、お仕事！」



～慰労会をしました～



「お掃除もしています」



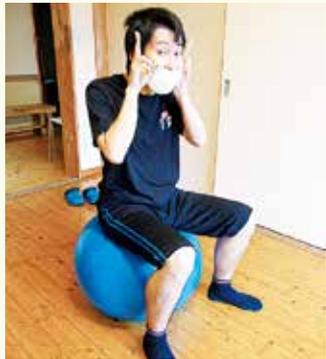
(山口 記)

ぷれいす Be 掲示板

AR3の夏祭り



室内運動で、身体をしっかり動かしています



染物体験

タオルやハンカチの絞り染めをしました



(松本 記)

ジョブジョイント (JJ) おおさか・ジョブジョイントおおさか -たかつきランチ- 掲示板

月	行	事
6月		
5日	土曜クラブ/シュミラボ (OB会)	
6/21~7/2日	企業実習 (サービス業の企業、清掃・事務補助)	
26日	働くチカラPROJECT 就活のススメ#1 「オリエンテーション・ビジネスマナー」、 就活のススメフォローアップ面談#1	
30日	関西大学 学内プログラム#1 「就職活動の進め方」	
7月		
7日	関西大学 学内プログラム#2 「コミュニケーション講座」	
12~16日	企業実習 (化粧品等販売の企業、軽作業)	
14日	関西大学 学内プログラム インターンシップガイダンス	
15日	会社見学 (株式会社摂津金属工業所)	
17日	働くチカラPROJECT 就活のススメ#2 「ビジネスクイズ」、 就活のススメ インターンシップ職業準備度チェック・事前面談	
26~29日	企業実習 (環境活性化の企業、事務補助)	
28日	障がい者雇用セミナー① 「発達障がいの特性」 (Web開催)	
29日	会社見学 (株式会社摂津金属工業所)	
31日	土曜クラブ/シュミラボ (OB会)	
31日	働くチカラPROJECT 就活のススメ インターンシップガイダンス	
8月		
4日	障がい者雇用セミナー② 「採用と定着支援」 (Web開催)	
11日	レクリエーション	
21日	先輩のはなし・実習報告会	
18日	障がい者雇用セミナー (無料相談会)	

(徳野 記)

会社見学

株式会社摂津金属工業所に会社見学に行きました。初めて会社見学されるご利用者の方が多く、緊張感がありましたが、実際の職場や仕事を見て感じる事が出来た、とても貴重な時間でした。対応して下さいた田中社長が、とても優しく熱い方でした。



レクリエーション

8/11はお盆休みの間の通所日だったため、普段の訓練プログラムを変更し、レクリエーションを行いました。今回は4つのクラブ「謎解きクラブ」「お茶の間クラブ」「写真クラブ」「お散歩ビンゴクラブ」を作り、就労移行・自立訓練の垣根なくお好きなクラブに参加していただきました。普段は関わりのないチームのご利用者の方とも関わる機会となり、とても充実した時間を過ごすことができました。



先輩のはなし・実習報告会

8/21に、「先輩のはなし・実習報告会」を実施しました。企業実習に参加されたご利用者の方(2名)からの実習報告、スタッフからの実習先紹介、発表者の方への質疑応答、ジョブジョイントおおさかを卒業され企業でお仕事をされている先輩のおはなし(2名)、先輩方への質疑応答という内容で行いました。発表して下さったみなさんのお話はどなたもすばらしく、興味深いもので、参加されたみなさんも4名の方の発表を熱心に聞かれており、実習や先輩のリアルな話を聞くことのできる貴重な機会となりました。





新しい仕事にもチャレンジ!



新しい軽作業も
増えました!



作業着に着替えて
準備万端!

厨房では夏限定商品を製造!



今年も毎年好評の
レモンケーキを製造しました!
厨房内にレモンの
さわやかに香りが広がります♪



運動プログラム&勉強会スタート!



ヨガやストレッチで
体を動かしました♪



熱中症や挨拶のこと
などについて
みんなで勉強しました♪

(山田 記)

萩の杜家族会 掲示板

6月	行	事
	コロナ禍のため、イオン黄色レシートキャンペーン・安全対策委員会・サークル萩は中止 (イオン黄色レシートキャンペーンは関連店での買い物協力依頼)	
7月	行	事
	コロナ禍のため、イオン黄色レシートキャンペーンは中止 (関連店での買い物協力依頼)	
9日	萩の杜重度高齢化対策プロジェクト	
22日	サークル萩(今城塚公民館)	
29日	家族会役員会(高槻現代劇場206号室) 出席者 10名 ①安全対策部会の代表について 家族会定例会(高槻現代劇場206号室) 出席者 23名 ①会長挨拶 ②各部会の活動報告 ③施設より報告	
8月	行	事
	コロナ禍のため、イオン黄色レシートキャンペーン・安全対策委員会・サークル萩は中止 (イオン黄色レシートキャンペーンは関連店での買い物協力依頼)	
11日	萩の杜重度高齢化対策プロジェクト	

(飯塚 記)



令和3年7月29日(木) 家族会定例会
高槻現代劇場にて松上理事長が出席され、
萩の杜の重度高齢化対策プロジェクトに関
してお話がありました。
もう少し具体的に学びたいので10月に勉
強会を予定しています。



ジョブサイトひむろ家族会 掲示板

6月	行	事
21日	経営協議会（Zoomにて東会長出席）	
7月	行	事
28日	第1回役員会（高槻現代劇場 206号室） <議題> ① 新旧役員顔合わせ・引継ぎ ② 法人状況報告（平野理事） *ワクチン接種状況など ③ ジョブサイトひむろ（森田施設長） *移転状況について ④ 会員状況 *退会1名（会員総数51名） ⑤ 次回開催予定 10月6日(水)10:30~12:00	
8月	行	事
24日	後援会臨時役員会（Zoomにて東会長出席）	
31日	経営協議会（Zoomにて東会長出席）	

（吉田 記）

ジョブサイトよど家族会 & ジェイ・ブランチよど家族会 掲示板

6月	行	事
15日	ジョブサイトよどのグループホームを検討する会 レジデンスよど三津屋北ホーム見学会 法人出席：下部長、原田副部長、倉窪主任 第2期グループホーム：7家族 世話人：永井	
7月	行	事
6日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 7月定例会（開催中止）	
8月	行	事
17日	ジョブサイトよどのグループホームを検討する会（ジョブサイトよど1階） 法人出席：佐々木理事、平野理事、下部長、原田副部長、倉窪主任 第2期グループホーム：7家族 世話人：永井	
21日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会（ジョブサイトよど1階）	
24日	北摂杉の子会後援会 臨時役員会（本部もしくはzoom） 出席：永井	

（永井 記）

ふれいすBe家族会 掲示板

6月	行	事
		家族会行事なし
10日		役員会（参加者9名）感染対策対応のうえ実施 新しい役員選出方法について検討
7月	行	事
		家族会行事なし
8日		役員会（参加者10名）感染対策対応のうえ実施 新しい役員選出方法について検討 役員選出方法に関してアンケート配布検討 通所者のワクチン接種に関して確認
8月	行	事
		家族会行事なし
5日		役員会（参加者8名）感染対策対応のうえ実施 会員へのアンケート配布 家族会行事が出来ないため代替案を検討 定例会を中止とし役員選出方法に関しての臨時総会開催決定

（大門 記）

自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会 オアシス 掲示板

6月	行	事
1日		オアシス役員会 ミスタードーナツ十三店
20日		JDDnet 代議員総会 zoom によるオンライン会議
11日		大阪府発達障害団体ネットワーク会 zoom によるオンライン会議
7月	行	事
6日		オアシス・サロン 喫茶店 参加者6名 2テーブルに分かれて開催 オアシス役員会
26日		いるか通信機関紙発行 京都教育大学大学院生による子育てに関するアンケート協力 武庫川女子大学生による面接調査協力
8月	行	事
2日		オアシス役員会 グループ通話
7日		おやじの会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

（福田 記）



北摂杉の子会 後援会 掲示板



本会の活動に対して多くの方々や企業、団体、また法人家族会の皆様にご支援を頂き、誠にありがとうございます。今後ともより一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

<報告事項>

I 会員数の動態と資金について

	個人会員数	納入率	団体会員数	納入率	寄付
4月	477	(5%)	33	(0%)	0
5月	484	(21%)	34	(15%)	5
6月	526	(32%)	34	(18%)	1
7月	527	(36%)	34	(21%)	1
8月	531	(39%)	34	(21%)	0

II 8月末現在の増減・累計

個人：54名 団体：1 寄付：13名
 資金 会費：574,000円 寄付：110,000円
 合計：684,000円

- 今年度8月末までに会費、寄付金合わせまして684,000円の資金を頂戴いたしました。
ご支援、ご協力に感謝申し上げます。

III 臨時役員会を開催（2021年8月24日）し下記の案件について確認

1. 今年度の会員動態と資金の推移について
2. 法人への寄付金及び用途について
法人よりアクトおおさかへのAEDの設置およびTTAP検査キット購入の提案があり承認された。寄付金総額400,000円 予定寄付額の残額1,100,000円は来年度に持ち越す。
3. 会則の変更について
会員資格喪失年限および会費に購読料が含まれる旨の条文の削除。会員には機関誌「地域に生きる」が発送される旨の条文を追加。
4. その他
 - ・各家族会の活動の報告
 - ・相談支援・ショートステイ利用者への案内の状況報告
 - ・次回臨時役員会の開催予定
日時：2021年11月17日（水）14：00～15：30
場所：高槻現代劇場

（沖本 記）

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。
お振込みは右記口座まで。もしくは同封の振込用紙をご利用下さい。
皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

既に今年度、後援会会費をいただいた方には重ねてのご案内になりますことを、どうかご容赦ください。

記

1. 寄付金(注)
2. 個人会員 年間一口 2,000円
3. 団体会員 年間一口 10,000円

郵便振込口座 北摂杉の子会
00920-8-90859

（注）任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱UFJ銀行 支店名 高槻支店 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会
 口座番号：5085555

～ 皆様の温かいご支援に
感謝いたします ～



□ 法人へのご寄附に感謝いたします。(令和3年6月1日～令和3年8月31日)

奥 健介 植松芳哲

□ 後援会入会と会費納入に感謝いたします。(令和3年6月1日～令和3年8月31日)

増田桂子 森本信之 赤尾浩子 松原茂樹 八里いよ 今井温子 飯塚信一 飯塚むつみ 新谷 敦
芦川香織 井筒浩美 伊藤克行 大曾根哲也 大屋智資 川口清美 河端良一 清藤玲子 高下 修
河内久和 厚東洋輔 小浦健吾 財津博文 斎藤千鶴 笹尾武司 澤村淑子 下江正治 大門智将 館上壽明
辰巳浩一郎 鶴野隆浩 徳永順子 永村 博 西川正義 西口聖治 西山禎一 林慎一郎 本城征治郎
松永 浩 宮本三郎 山本道規 横山宏幸 和田 進 中西君枝 黒澤和子 角谷慶子 橋長壽子
小林美代子 丹藤優香 丹藤舞香 安原邦高 富宅由美子 中村英一 田口容子 田口敦夫 田寺雅幸
田寺文子 寺井美由紀 吉川輝夫 吉川弘子 榎本浩之 榎本滋子 志村敦子 南 昌子 南 浩聡
南俊一郎 南 直美 南 雄太 戸田純子 中村節史 中村悦子 中村哲史 中村 潤 中村四葉
長谷川ひろみ 中村豪史 中村義昭 溝江キチヨ 甲木和子 上田博久 三谷 勤 佐々木公一 水島佑介
玉木一彦 竹内知子 升本秀則 匿名希望23人
千里ハウジング株式会社 代表取締役 小山洋司
自閉症の人のバリアフリーを考える親の会 はぐくみ

□ 後援会へのご寄付に感謝いたします。(令和3年6月1日～令和3年8月31日)

八里いよ 林 秀郎 匿名希望1人

□ 家族会へのご寄付に感謝いたします。(令和3年6月1日～令和3年8月31日)

黒瀬美和子

□ 家族会への物品のご提供に感謝いたします。(令和3年6月1日～令和3年8月31日)

黒瀬美和子 木内一美 大森幸子 菅野寿子 南野佐智子

□ 家族会へのボランティアに感謝いたします。(令和3年6月1日～令和3年8月31日)

佐々木映世

(敬称略 順不同)

発行人 社会福祉法人 北摂杉の子会
理事長 松上 利男

発行所 北摂杉の子会

住 所 大阪府高槻市城北町1丁目6-8

発行日 2021年10月31日

定価100円

施設住所一覧

- **社会福祉法人 北摂杉の子会 法人事業部 人材育成研修室**
(法人独自の公益事業<研修・講師派遣・コンサルテーション>)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F
TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155
 - **障がい者支援施設 萩の杜 (施設入所支援・生活介護)**
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130
 - **萩の杜 日中活動支援センターふれっとなさはら (生活介護)**
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目4番25号
 - **萩の杜ショートステイセンター ぶれす (短期入所・日中一時支援)**
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0199
 - **グループホーム とんだ (共同生活援助)**
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室
 - **レジデンスなさはら (共同生活援助)**
〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号
 - **レジデンスなさはら2丁目 (共同生活援助)**
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目1番8号
 - **レジデンスなさはらもとまち (共同生活援助)**
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目4番26号
 - **ジョブサイトひむろ (生活介護)**
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222
 - **高槻地域生活総合支援センター ぶれいすBe (生活介護・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)**
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900
<短期入所> TEL (072)681-4720
 - **生活支援センター あんだんて (指定特定相談支援・指定一般相談支援事業)**
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900
 - **大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか (発達障害者支援センター事業)**
〒540-0026 大阪市中央区内本町1丁目2-13
谷四ばんらいビル10F
TEL (06)6966-1313 FAX (06)6966-1531
 - **児童デイサービスセンター an (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)**
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)4862-5454 FAX (06)4862-5466
 - **こども発達支援センター will (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)**
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056
 - **こども相談支援センター wish (指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業)**
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
TEL (072)605-1140 FAX (072)662-0056
 - **自閉症療育センター Link (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)**
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F
TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412
 - **こども発達支援センター az (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)**
〒558-0003 大阪市住吉区长居2丁目4-1 サンテ長居1F
TEL (06)6654-8777 FAX (06)6654-8780
 - **ジョブサイトよど (生活介護)**
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015
 - **ジェイ・ランチよど (就労継続支援B型)**
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目3番10号
TEL (06)6303-9430 FAX (06)6195-3710
 - **レジデンスよど三津屋北ホーム (共同生活援助)**
〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北1丁目9番6号
 - **ジョブジョイントおおさか (自立訓練<生活訓練>・就労移行支援)**
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)6100-0150 FAX (06)6309-3007
 - **ジョブジョイントおおさか たかつきランチ (自立訓練<生活訓練>・就労移行支援)**
〒569-0072 高槻市京口町9番3号 関西産業ビル1F・4F
TEL (072)668-1123 FAX (072)668-1165
 - **すぎのご訪問看護ステーション (訪問看護)**
〒569-0071 高槻市城北町1丁目7-16 リーベン城北401
TEL (072)668-2670 FAX (072)668-2671
 - **発達支援あゆみ (豊中市児童発達支援事業所あゆみ) (個別療育・障害児一時預り事業・単独通所)**
〒560-0054 豊中市桜の町3丁目12番10号
単独通所 あゆみ
TEL (06)6841-1551 FAX (06)6841-9467
個別療育 カラフル・一時預かり りーふ
TEL (06)6398-7755 FAX (06)6841-9467
- 【法人自主製品店舗】**
- **「LaLa-chocolat (ララ ショコラ) /TAKATSUKI」**
就労継続支援B型
〒569-0071 高槻市城北町2丁目13番2号
TEL (072)668-5055 FAX (072)668-5081
営業時間：10：00～19：00(日・祝休み)

※■は行政よりの委託事業